

教科名	知の構築技法
責任者名	坪井 美行
学期	前期
対象学年	2学年
授業形式等	演習

◆担当教員

坪井 美行 (生理学 専任講師)
山崎 洋介 (解剖学Ⅱ 准教授)
藤田 智史 (薬理学 准教授)
鈴木 直人 (生化学 教授)
田村 宗明 (細菌学 准教授)
浅野 正岳 (病理学 教授)
武市 収 (歯科保存学Ⅱ 准教授)
菅野 直之 (歯科保存学Ⅲ 准教授)

◆一般目標 (GIO)

この教科では、組織学や病理学、細菌学、生化学、生理学、薬理学を担当する教員がそれぞれの専門分野における“炎症に関連する講義”を行う。各分野の講義を聴講しながら、その内容について各自がノートテイキングの演習を行う教科である。講義の内容を後に復習し、その授業をより理解するためにもノートテイキングは有効である。理解すべき知識をノートテイキングによって自ら収集し、整理・体系化できるようになるために、トレーニング的に何度も反復することで、“技法(わざ)”を身につける。

◆到達目標 (SBOs)

- ・理解すべき知識を自ら収集することができる。
- ・整理・体系化したノートテイキングができる。

◆評価方法

定期試験は行わない。提出物を基礎データとして、成績評価表示S, A, B, Cによる相対評価を行う。参考になるノートテイキングは授業内で提示して参考にしてもらう。前半6項目は各々10%、後半2項目はそれぞれ20%の比率で評価します。なお各項目ごとに2回目の授業の時に1回目のノートが返却され、評価のフィードバックがなされます。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	備考
坪井 美行	水曜日 17:00~18:00 場所：1号館4F412	
山崎 洋介	月曜日 12:00~13:00 場所：1号館2F228	
鈴木 直人	月-金曜日 12:00~13:00 場所：1号館3F309	
藤田 智史	火曜日 17:00~18:00 1号館3F303	
田村 宗明	水曜日 17:00~19:00 場所：1号館3F322	
浅野 正岳	月曜日 17:00~18:00 場所：1号館2F225	
武市 収	月曜日 17:00~18:00 本館6階 保存学第Ⅱ講座医局	
菅野 直之	月曜日 17:00~18:00 本館6階 保存学第Ⅲ講座医局	

◆授業の方法

【スキルアップ <2回~13回>】
この演習ではスキルアップ・トレーニングを都合6セット実施するが、その各々は、原則として次のような手順で進められ、2週で2件の提出物CKGが生じる(6セットでは合計12件)。
[第1週]

- ① 担当者による“教材としての講義” (50 分前後)
- ② 学生は、配付される所定のノートテイク用紙 [CKG-1] に聴講内容を記録
- ③ 聴講後、取ったノートを学生間で交換し、記載内容について互いにチェックし、改良点を列挙
- ④ 学生によるアドバイスを元に、自分で改良点を記載
- ⑤ 担当者は、CKG-1 を回収して次週までに精査

[第 2 週]

- ⑥ 第 1 週に提出されたノートの中で参考となるもの (Selected CKG-1) を、学生全員に電子配信
- ⑦ 学生が取ったノート CKG-1 を返却。精査した結果については担当者が学生に総合講評
- ⑧ 学生は、Selected CKG-1 をもとに、課題 (テスト) に取り組んで解答 [CKG-2]
- ⑨ 担当者は、第 2 週の CKG-2 を回収して後日採点

【講演演習 < 1 4 回、1 5 回 >】

この演習では講演の聴講を 2 度実施するが、その各々は、原則として次のような手順で進められ、1 講演に付き、「学生が取ったノート、聴講サマリー」という 2 件の提出物、すなわち CKG-3, 4 が生じる (2 講演で合計 4 件)。

- ① 講演内容をノートテイク [CKG-3]
- ② 学生と演者での質疑応答
- ③ 学生は、講演内容について聴講サマリー [CKG-4] をまとめる (40 分前後)。
- ④ 担当者 (& 演者) は、CKG-3 と CKG-4 を回収して後日採点

◆教材 (教科書、参考図書、プリント等)

教科書： 指定しない。本教科の趣旨にもとづいて、プリント配付も最小限に留める。

参考書： 指定しない。更なる学習のために担当者が授業時に紹介することがある。

◆DP・CP

DP 4

コンピテンス：問題発見・解決力

コンピテンシー：自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

CP 3

幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

◆準備学習(予習・復習)

演習の趣旨に照らし準備学習は不要だが、第2週目までに自分のノートテイキングの良いところと悪いところ、その改善点などを考えること。授業時間中は“ひたすら書く”こと。

◆準備学習時間

学生間での指摘事項について確認する時間や自身のノートテイキング自己評価を行い改善点を見出すことに、1項目につき1時間30分程度の時間を作る。

◆全学年を通しての関連教科

全ての授業に関連する。

◆予定表

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		4.4	6 ~ 7	ガイダンス 教材講義のテーマ： 本講のシステムとねらい	種々あるノートテイキングの方法を理解する。	坪井 美行	A-2-1) 課題探求・解決能力
2		4.11	6 ~ 7	スキルアップ I 第 1 週 教材講義のテーマ： 感染症予防の嚆矢 (こうし) —ゼンメルワイスの物語—	授業後の学習に有効なノートテイキングが出来る。	山崎 洋介	A-2-1) 課題探求・解決能力
3		4.18	6 ~ 7	スキルアップ I 第 2 週 教材講義のテーマ： 感染症予防の嚆矢 (こうし) —ゼンメルワイスの物語—	参考になるノートテイキングを参考にして改善点を見つけより有効なノートテイキングが出来るようになる。 教材講義内容課題を自身のノートを使って出来るようになる。	山崎 洋介	A-2-1) 課題探求・解決能力
4		4.25	6 ~ 7	スキルアップ II 第 1 週 教材講義のテーマ： ケミカルメディアエター	授業後の学習に有効なノートテイキングが出来る。	鈴木 直人	A-2-1) 課題探求・解決能力
5		5.9	6 ~ 7	スキルアップ II 第 2 週 教材講義のテーマ： ケミカルメディアエター	参考になるノートテイキングを参考にして改善点を見つけより有効なノートテイキングが出来るようになる。 教材講義内容課題を自身のノートを使って出来るようになる。	鈴木 直人	A-2-1) 課題探求・解決能力

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
6		5.16	6 ~ 7	スキルアップⅢ 第1週 教材講義のテーマ： 感染症と炎症 –病原 微生物と免疫機構–	授業後の学習に有効なノートテイキングが出来る。	田村 宗明	A-2-1) 課題探求・解決能力
7		5.23	6 ~ 7	スキルアップⅢ 第2週 教材講義のテーマ： 感染症と炎症 –病原 微生物と免疫機構–	参考になるノートテイキングを参考にして改善点を見つけより有効なノートテイキングが出来るようになる。 教材講義内容課題を自身のノートを使って出来るようになる。	田村 宗明	A-2-1) 課題探求・解決能力
8		5.30	6 ~ 7	スキルアップⅣ 第1週 教材講義のテーマ： 炎症の形態学的分類と その特徴	授業後の学習に有効なノートテイキングが出来る。	浅野 正岳	A-2-1) 課題探求・解決能力
9		6.6	6 ~ 7	スキルアップⅣ 第2週 教材講義のテーマ： 炎症の形態学的分類と その特徴	参考になるノートテイキングを参考にして改善点を見つけより有効なノートテイキングが出来るようになる。 教材講義内容課題を自身のノートを使って出来るようになる。	浅野 正岳	A-2-1) 課題探求・解決能力
10		6.13	6 ~ 7	スキルアップⅤ 第1週 教材講義のテーマ： 痛みの発生機構と炎症	授業後の学習に有効なノートテイキングが出来る。	坪井 美行	A-2-1) 課題探求・解決能力
11		6.20	6 ~ 7	スキルアップⅤ 第2週 教材講義のテーマ： 痛みの発生機構と炎症	参考になるノートテイキングを参考にして改善点を見つけより有効なノートテイキングが出来るようになる。 教材講義内容課題を自身のノートを使って出来るようになる。	坪井 美行	A-2-1) 課題探求・解決能力
12		6.27	6 ~ 7	スキルアップⅥ 第1週 教材講義のテーマ： 抗炎症薬	授業後の学習に有効なノートテイキングが出来る。	藤田 智史	A-2-1) 課題探求・解決能力
13		7.4	6 ~ 7	スキルアップⅥ 第2週 教材講義のテーマ： 抗炎症薬	参考になるノートテイキングを参考にして改善点を見つけより有効なノートテイキングが出来るようになる。 教材講義内容課題を自身のノートを使って出来るようになる。	藤田 智史	A-2-1) 課題探求・解決能力
14		7.11	6 ~ 7	講演聴講 VII 講演テーマ： 歯髄炎と根尖性歯周炎 の病因と治療	歯科臨床についての講演を聞き、講演後演者への質問を行うための有効なノートテイキングが出来る。	武市 収	A-2-1) 課題探求・解決能力
15		7.18	6 ~ 7	講演聴講 VIII 講演テーマ： 歯周病と全身の健康	講演後、演者への質問を行うための有効なノートテイキングが出来る。	菅野 直之	A-2-1) 課題探求・解決能力

閉じる

↑ Topに戻る